スーパーマップル・デジタル
簡易マニュアル

2020年5月末日現在

CONTENTS

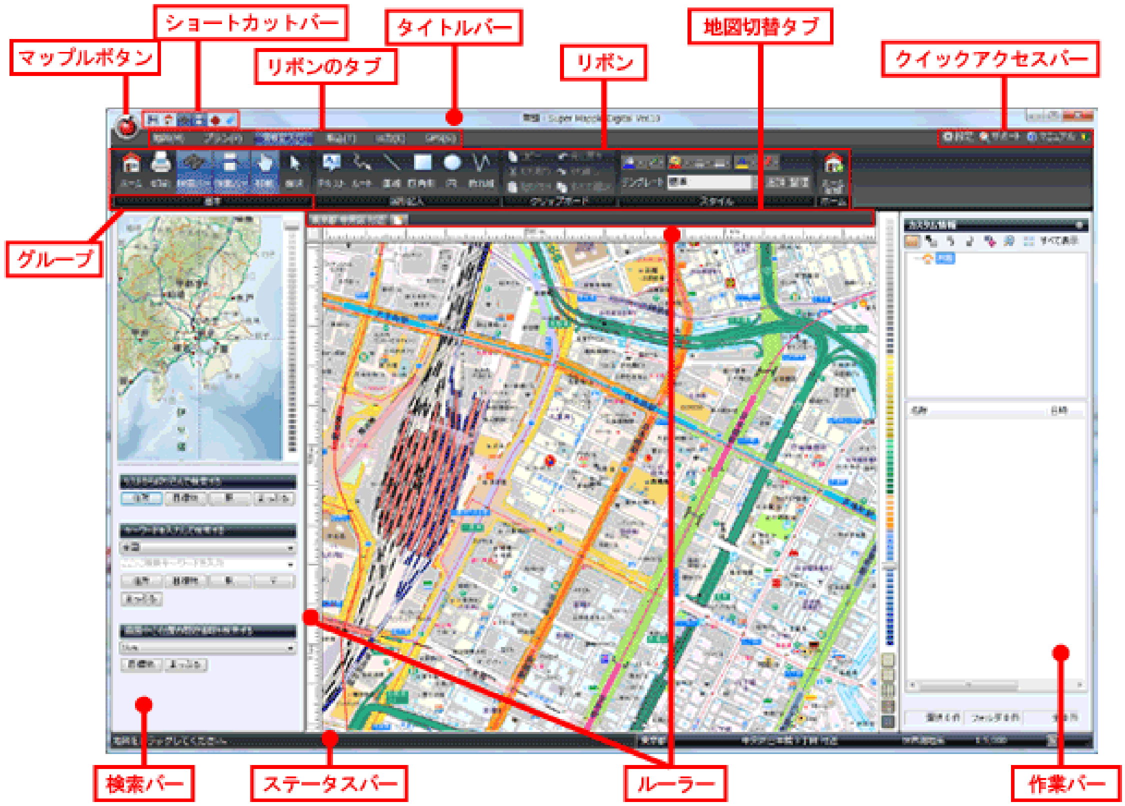
＊＊ご承諾ください＊＊
画像イメージは開発中のものも含みます

■さらに詳しく調べるには■

クイックアクセスバーにある 設定 サポート マニュアル ガイドマップ を参照して下さい。

本書で紹介しきれない細かい使い方・操作方法などが掲載されています。

■スーパーマップル・デジタルの基本画面構成



各操作ボタンの役割　**赤字の項目は、よく使用する項目です。**

【マップルボタン】基本的なファイル操作で「新規」、「開く」、「保存」、「終了」などを行います。
【ショートカットバー】リボンを最小化し、地図エリアを広くし操作するときに、使用します。
【リボンのタブ】操作を目的別に整理したものです。
【リボン】各操作を行うためのアイコンを示します。
【地図切り替えタブ】地図表示エリアを登録し、切替表示ができます。
【クイックアクセスバー】基本設定や「マニュアル」「ガイドブック」表示、「サポート」情報など確認できます。
【グループ】操作時のアイコンをグループ分けしたものです。
【検索バー】住所や施設名称から、該当の場所へ地図移動するとき使用します。
【ステータスバー】操作時のメッセージなど表示されます。
【ルーラー】表示されている地図範囲の距離を表示。
【作業バー】情報の操作には必要な欄で、情報の取得・記入・表示・整理するとき使用します。

★操作時の参考
・検索バーが表示されていない場合、「基本」グループより、を選択すると表示できます。

・作業バーが表示されていない場合、「基本」グループより、を選択すると表示できます。

【🍎 ポイント】
・各操作アイコンにマウスを置くと、操作をわかりやすくナビゲートする、アイコンの意味・目的が表示されます。







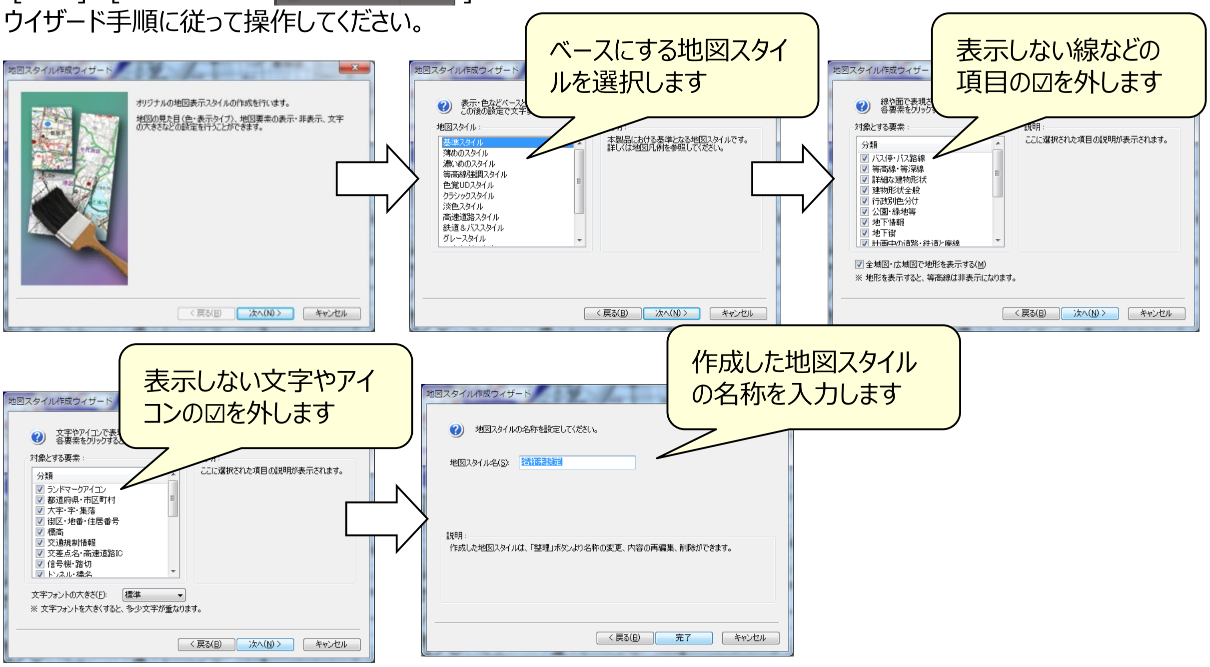
■地図スタイルの変更

地図の活用する上で、目的別に判断が行いやすい地図の表示方法を変更することが出来ます。

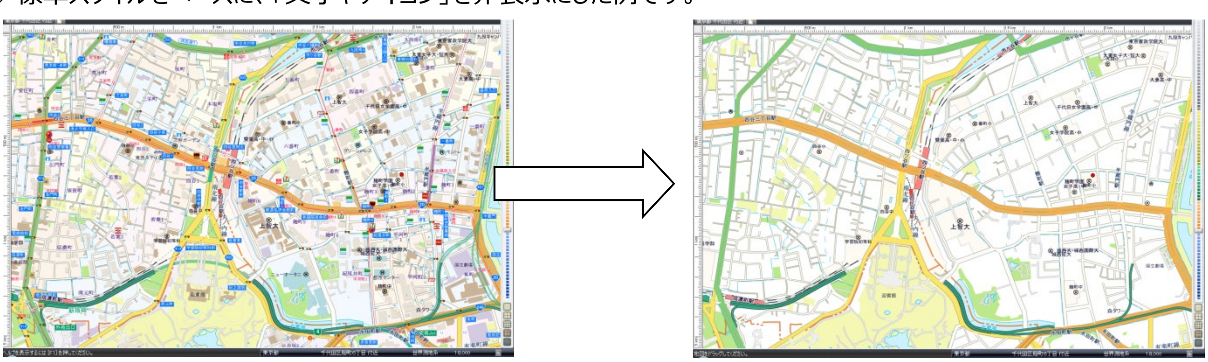
① [地図]の[地図スタイルの]をクリックし、目的にあった地図スタイルを選択することが出来ます。



② [地図]の[地図スタイルの 新規作成 整理]をクリックし、目的にあった地図スタイルを作成することも出来ます。
ウイザード手順に従って操作してください。



③ 標準スタイルをベースに、「文字やアイコン」を非表示にした例です。



■カスタム情報の記入

カスタム情報とは、地図上に名称（タイトル）としてアイコンと文字（または画像）を表示し、内部に住所などのコメントや写真、動画、EXCELファイル、PDF、Webリンクを持つことができるものです。
★初期状態（デフォルト）では、テキスト作成時の動作は、カスタム情報記入ウィザードを開くように設定されています。

① リボンの[情報記入]タブを選択し、[テキスト] ボタンをクリックします。

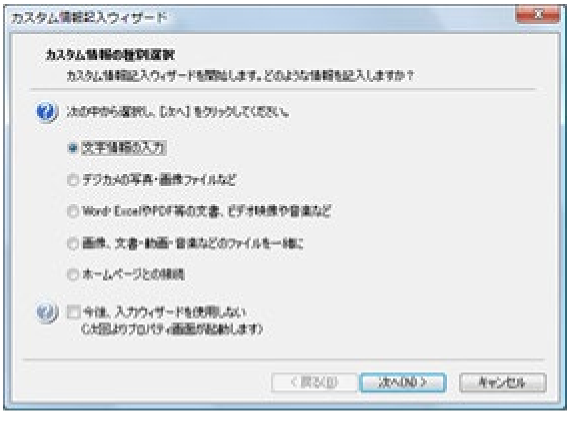


・地図上にマウスカーソルをもっていくと、 の形になります。



【参考】
・[テキスト]ボタンのアイコンを Wクリックすると連続して情報記入ができるようになります。

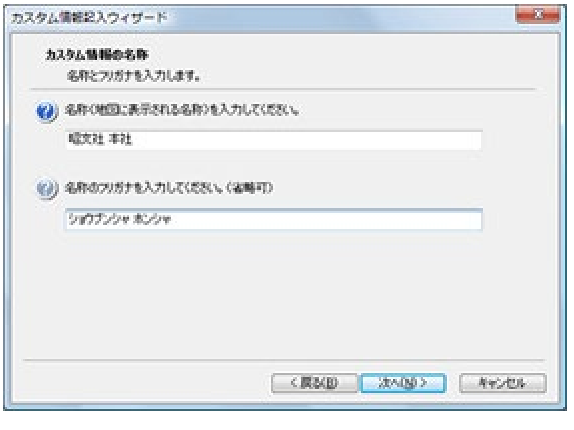
② 「カスタム情報記入ウィザード」ダイアログが表示されます。
入力するカスタム情報の種別にチェックを付け、[次へ]をクリックします。



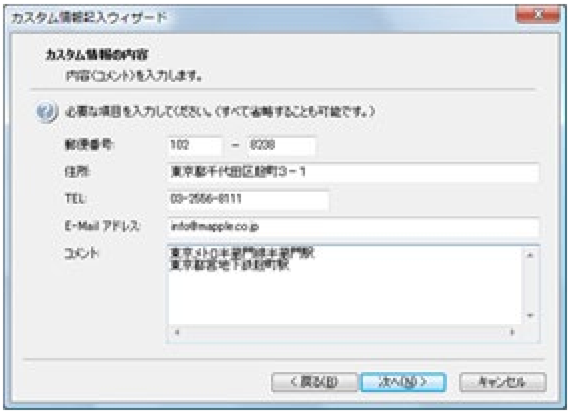
【参考】
・**「文字情報の入力」**を選択した場合は「基本情報」だけの記入になります。
・他の項目は「基本情報」＋「各種情報」が埋め込まれます。

・「今後、入力ウィザードを使用しない」をチェックすると、次回以降の情報記入はダイレクト記入の「プロパティ」を利用します。

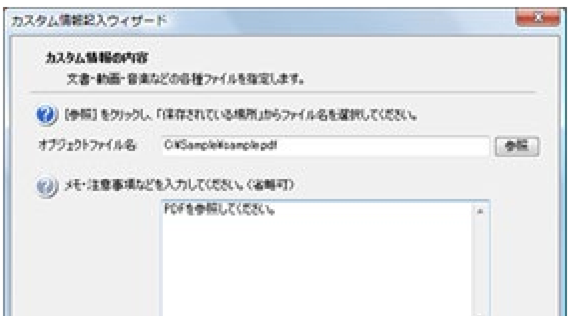
③ カスタム情報に設定する名称とフリガナを入力し、[次へ]をクリックします。



④ **「文字情報の入力」**を選択した場合は「基本情報」だけの入力になので、ここで入力は終了し⑥へ進みます。

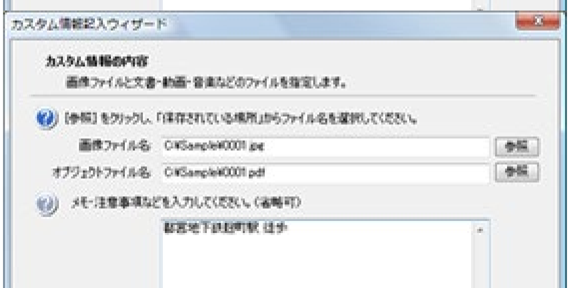


⑤ 他の項目を選択した場合は、「基本情報」プラス下記の画面に従い入力してください。



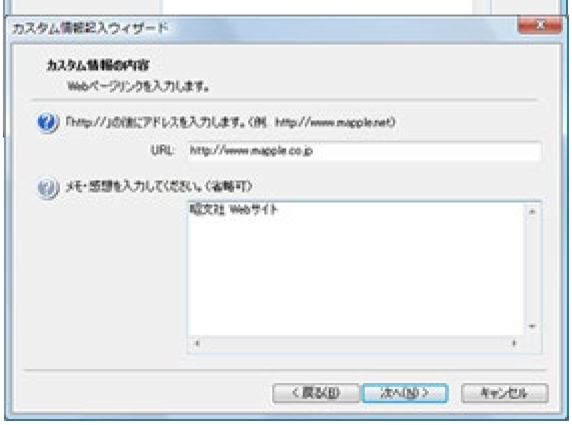
・「Word・ExcelやPDF等の文書、映像や音楽」の場合

[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込むEXCELファイル・文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「画像、文書・動画・音楽などのファイルを一緒に」の場合

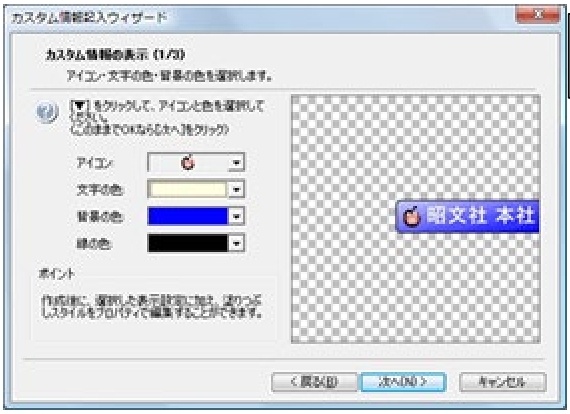
[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込む画像ファイルおよび文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「ホームページとの接続」の場合

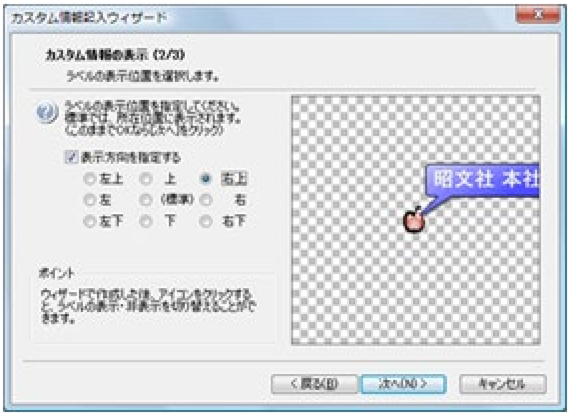
「http://」の後に、ホームページのアドレスを入力します。

⑥ アイコン、文字の色、背景の色を設定します。

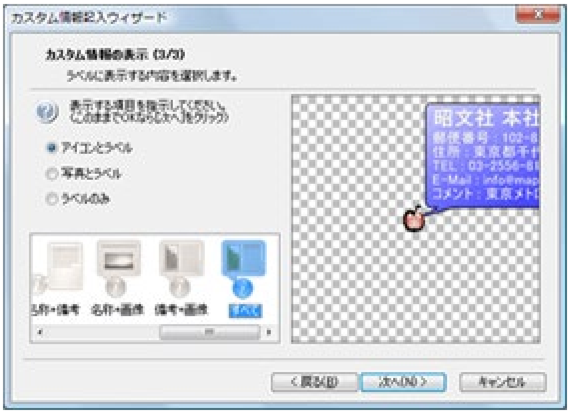


地図上に表示されるカスタム情報のアイコン、文字の色、背景の色、枠線の色を選択し、[次へ]をクリックします。

⑦ 引き出し線の有無・方向を必要なら設定し、[次へ]をクリックします。



⑧ アイコン・写真・名称・コメントの表示／非表示など、テキストの表示種類を選択します。



・初期値は「アイコンとラベル」の「名称」表示になっております。

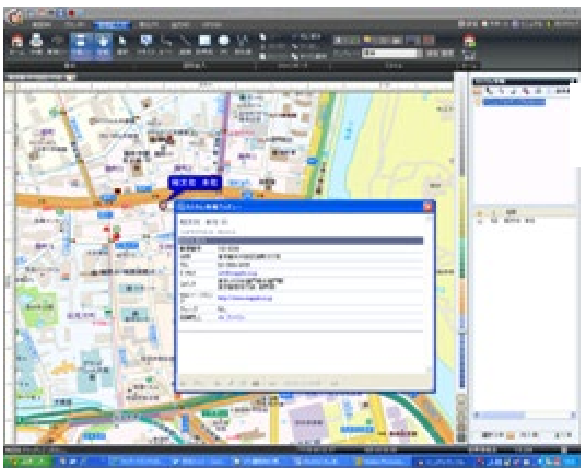
・画面の例では、「すべて」表示です。
（基本情報が全て表示されます）

⑨ 最後に ［完了］をクリックします。





⑩ カスタム情報の「名称」をクリックすると内容が表示されます。



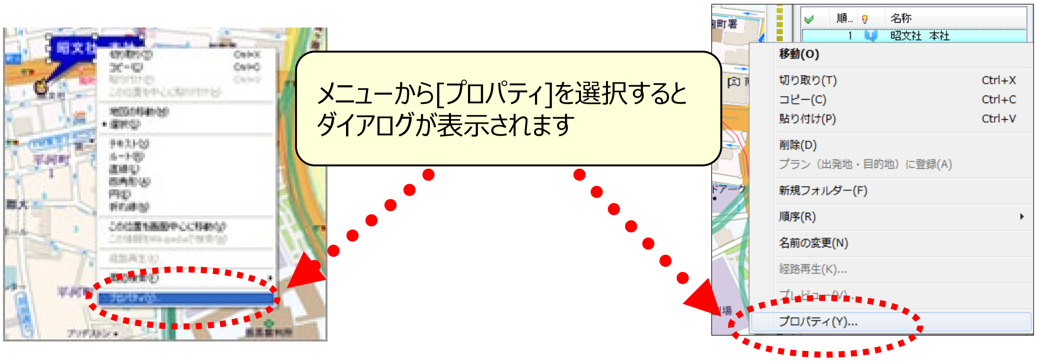
・「Webページリンク」が記入されている場合は、
下記のようなメニューが表示されます。



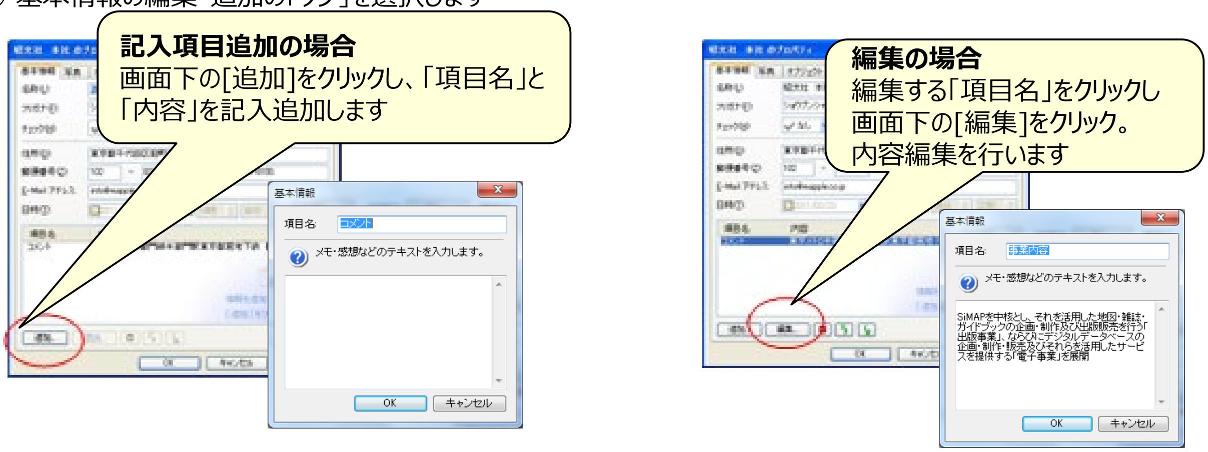
■カスタム情報の編集・追加

①  アイコンでカスタム情報の名称上でクリックし、（選択状態）となった上で右クリック。

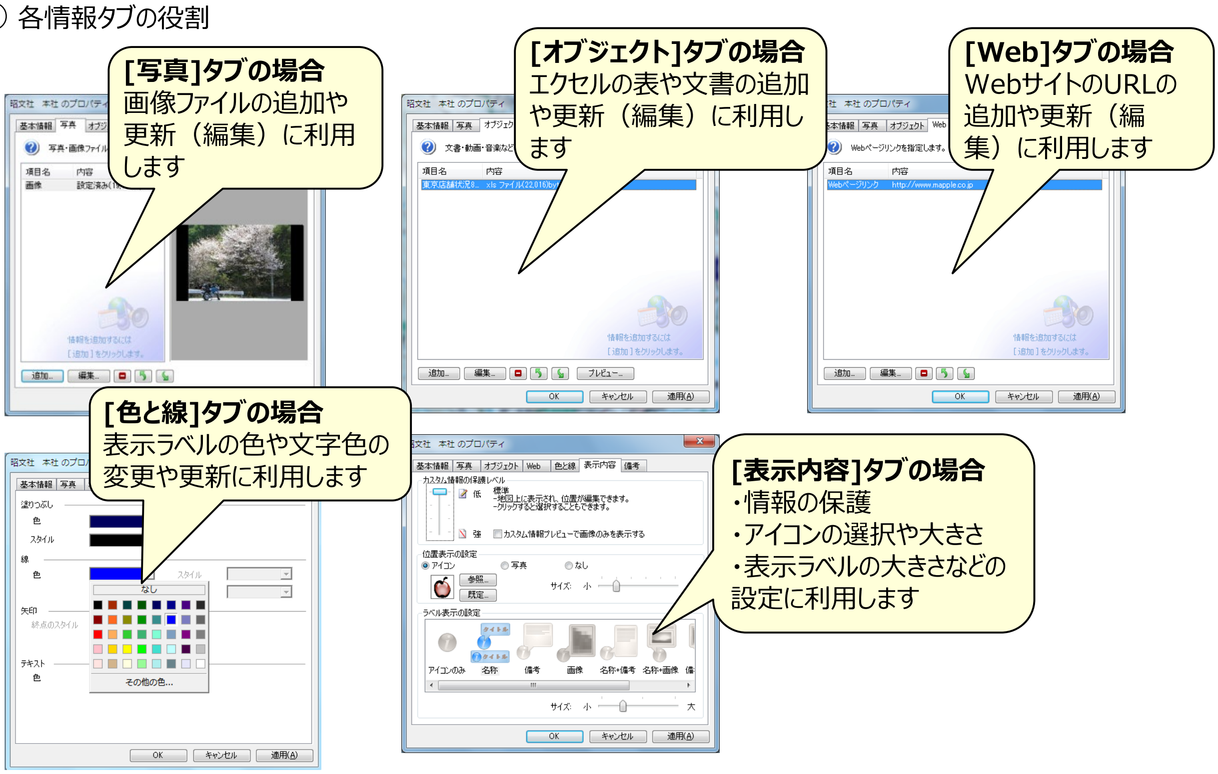
又は、「カスタム情報」欄の「該当名称」を右クリックし、[プロパティ]を選択してください。



② 基本情報の編集・追加の「タブ」を選択します



③ 各情報タブの役割



④ ラベル（名称）の位置と引出線の変更



・カスタム情報テキストの位置を変更するには、選択モードにして選択状態の「名称」の上でマウスが　に変わりますので、そのままドラッグします。

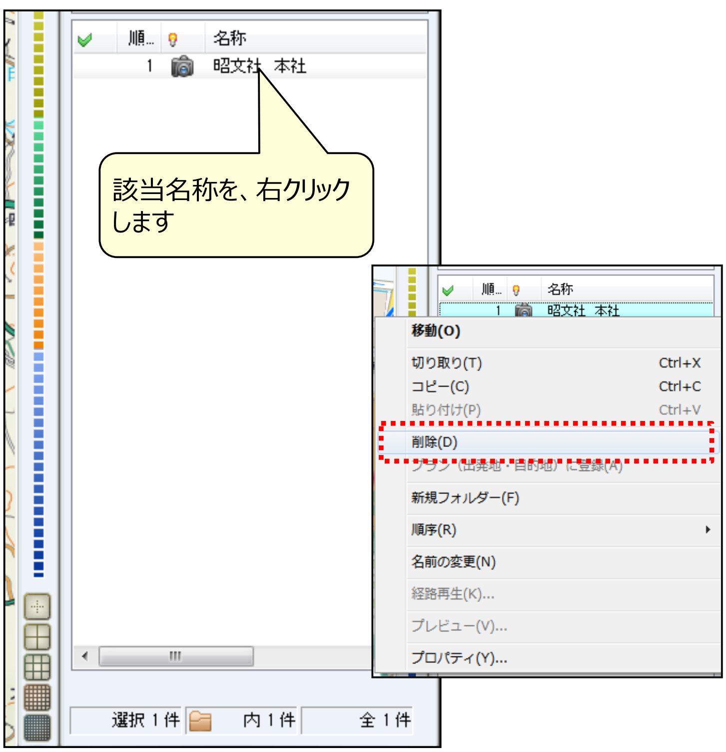
★引出線をつけて 地図上の注記や他の「名称」と重ならないように配置することができます。



・位置移動は、アイコン中央に表示されている「黄色いひし形」のマーカーの上でマウスが　に変わりますので、ドラッグして位置を変更できます。

■ カスタム情報の削除

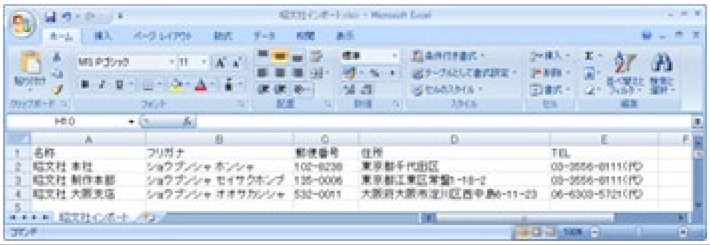
① 「カスタム情報」欄の該当名称の上で、右クリックし、メニューから[削除]を選択します。



■テキスト情報の取込み

【テキスト情報への取り込みとは】

CSV形式、または **テキスト形式で**顧客管理、販売管理、年賀状ソフトなど他のアプリケーションから出力された情報をスーパーマップル・デジタル上にカスタム情報として取り込むことができます。

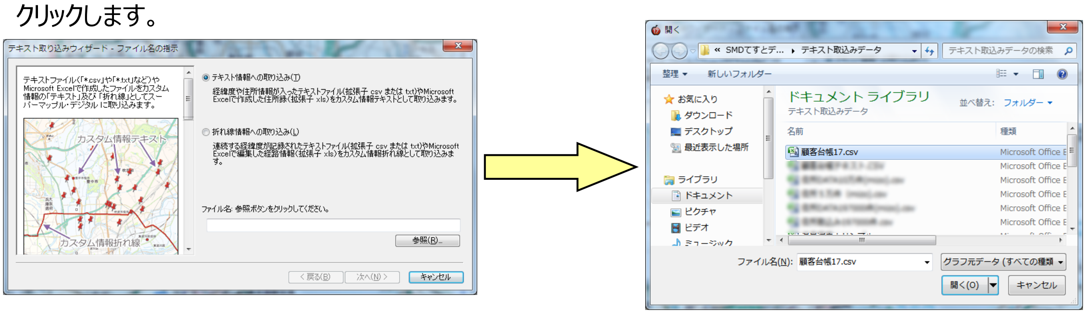


【 **参考】**一度に取り込めるデータは、データ内容の容量と機種の能力によりますが、約1万件程度可能です。

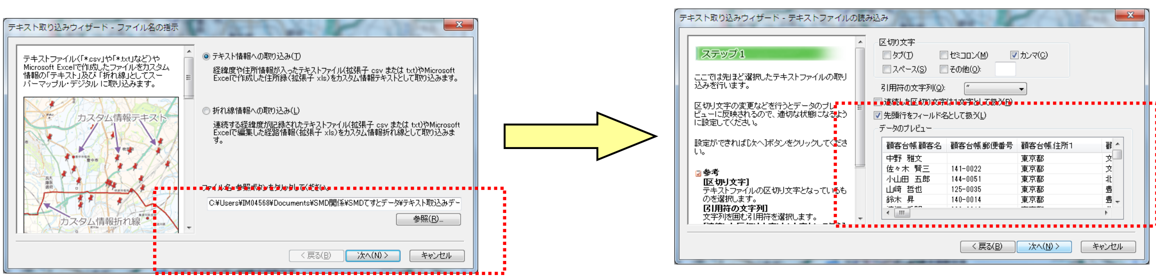
① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブの[テキスト]をクリックします。



② 「テキスト情報への取り込み」を選択し、[参照]をクリック「取り込む」ファイル（*.csv、*.txt）を選択し、[開く]をクリックします。



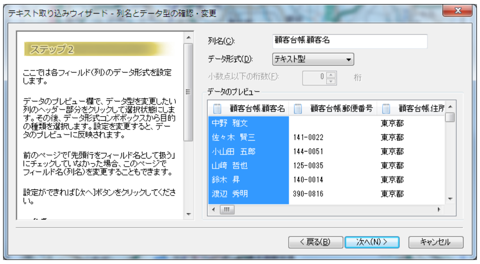
③ 「取り込み」を確認後、「次へ」をクリック。
［ステップ1］ で、テキストファイルの『区切り文字』」を選択し、取り込み設定を確認した後、「次へ」をクリックします。
を設定します。初期値はCSVに対応した「カンマ」に設定されております。



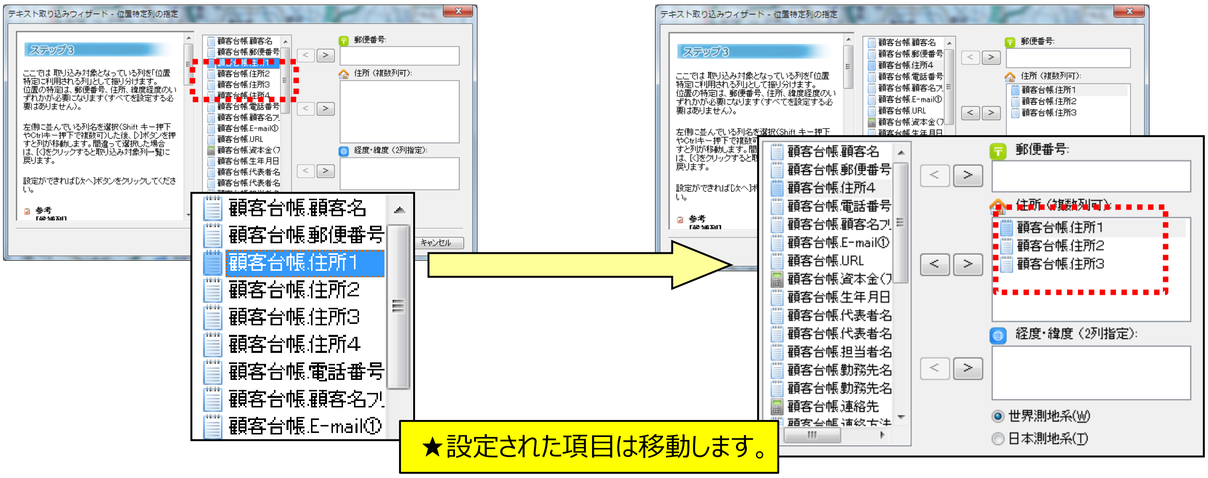
★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は
先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。

・「区切り文字」が不明の場合、プレビュー画面を見ながら設定してください。

④ ［ステップ2］は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。

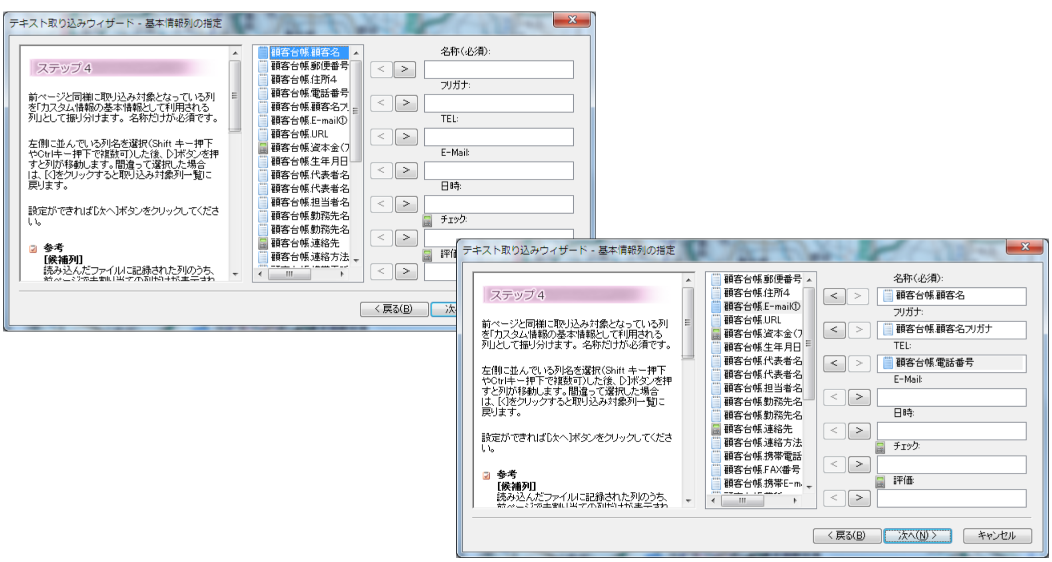


⑤ ［ステップ3］は、表示位置を特定するために、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。（「住所での例」です。）



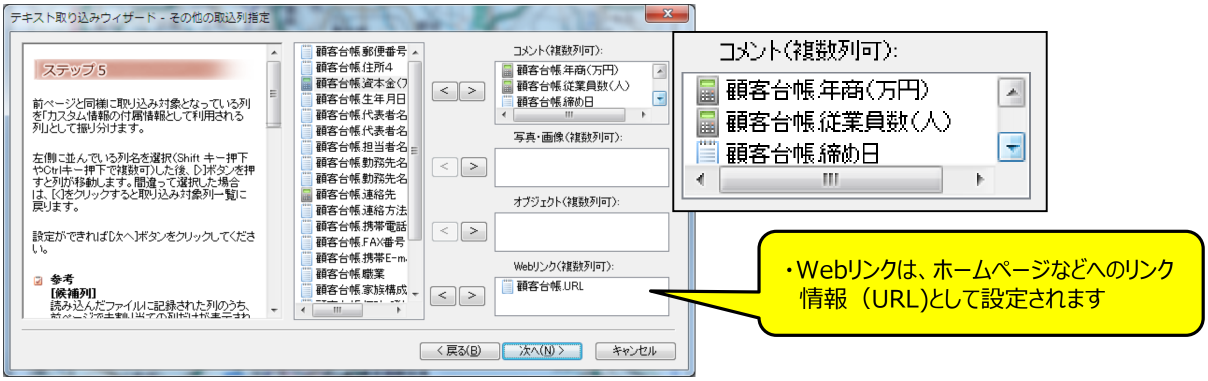
【 重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑥ ［ステップ4］は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。

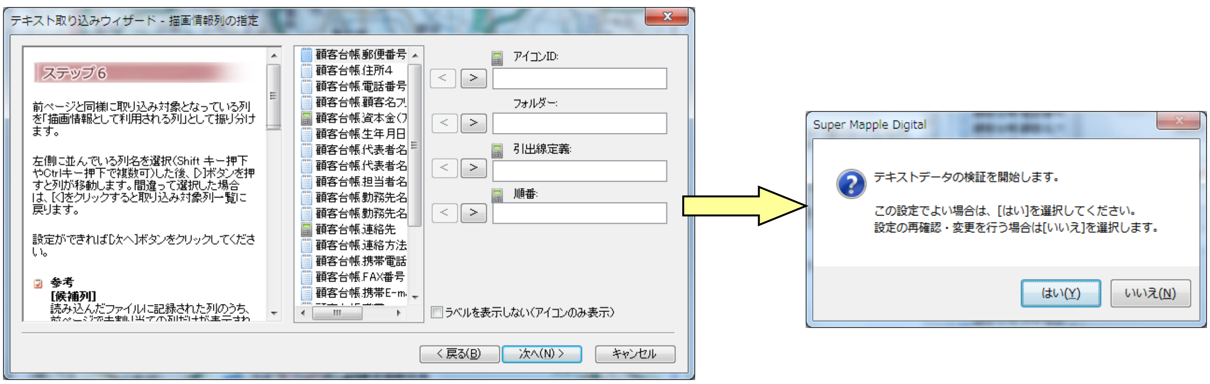


★取込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の
画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑦　［ステップ５］ は、「取込み」欄にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます。



⑧　［ステップ６］ は、スーパーマップル･デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を、取込むときに使用します。
「次へ」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取込みを開始します。



⑨　［最終ステップ］ は、取込み後の状況を表示します。

・「大字」「市区町村」までしか、一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」、「番」･「号」
　レベルまで一致した場合は警告を表示しません。



【 住所による、取り込みについてのご注意】

・東京都や大阪府などの特別政令指定都市、政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が違うため、
　若干警告の表示内容が違いますのでご了承ください。

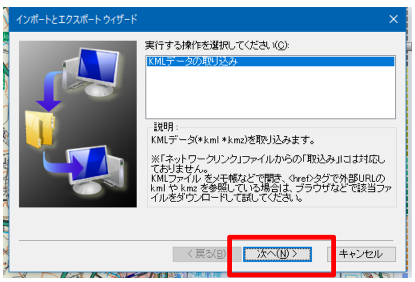
■KMLデータファイルの取込み（V19以降）

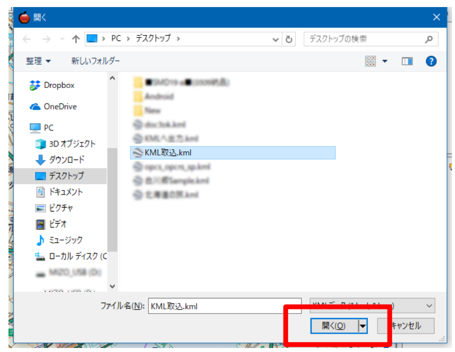
KMLとはGoogle Earthによって広められた，XML**ファイルの一つ**です。
ZIPで固めて圧縮したものがKMZ**ファイル**です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]の[KML]をクリックします。



② 「KMLデータの取り込み」を確認し、[次へ]ボタンを選択し、任意のkmlファイル開きます。
例：「KML取込み.kml」取り込み



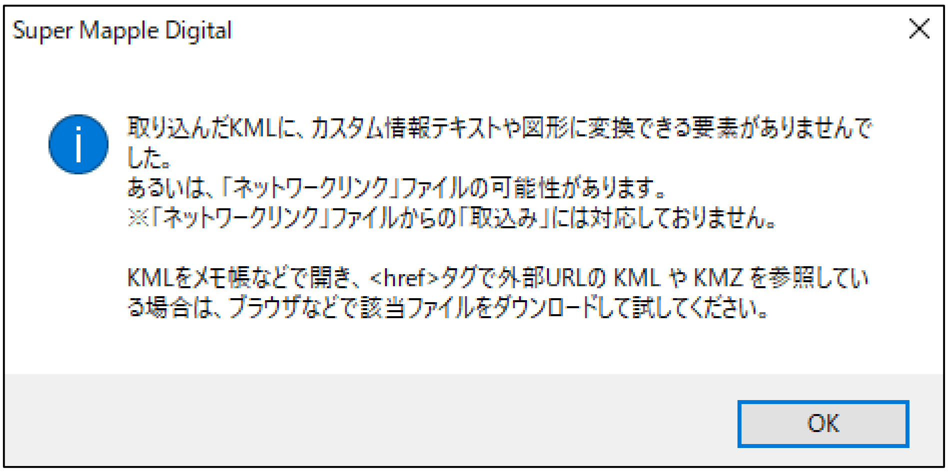


③ KMLデータファイルがカスタム情報としてされ表示されます。
※カスタム情報(**.rcm)として保存できます。

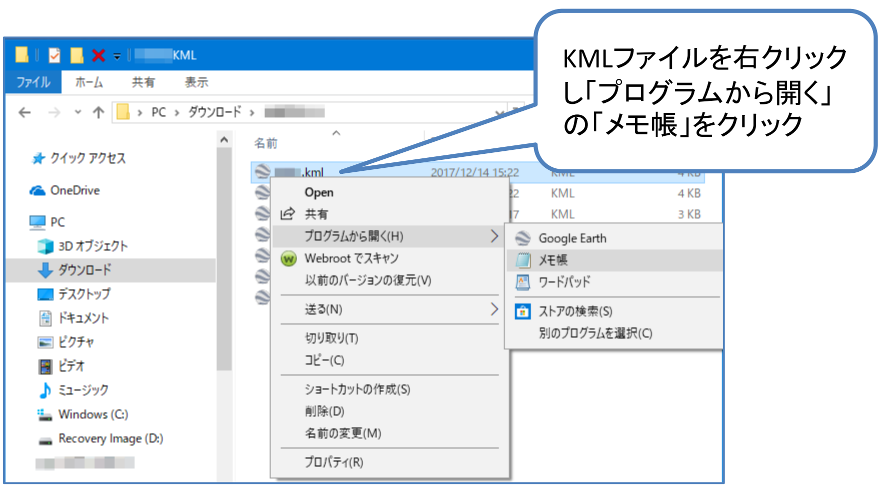


■一般的に公開されているKMLファイルは「ネットワークリンク」ファイルとして提供されているものが多いため、「取込み」ができない場合があります。

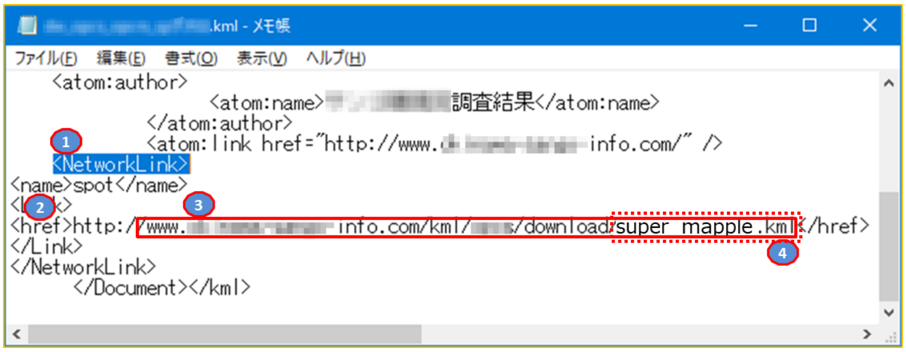
取り込もうとしたファイルに図形やテキストの情報がなく、変換できなかった場合は下記のメッセージが表示されます。その場合はネットワークリンクとして提供されている場合がございます。以下の方法で内容を確認することができます。



1：ダウンロードした kmlファイルがデータではなく、データ取得するためのリンクファイルの場合は、そのKMLファイルを右クリックし「プログラムから開く」でメモ帳などで開いてください。

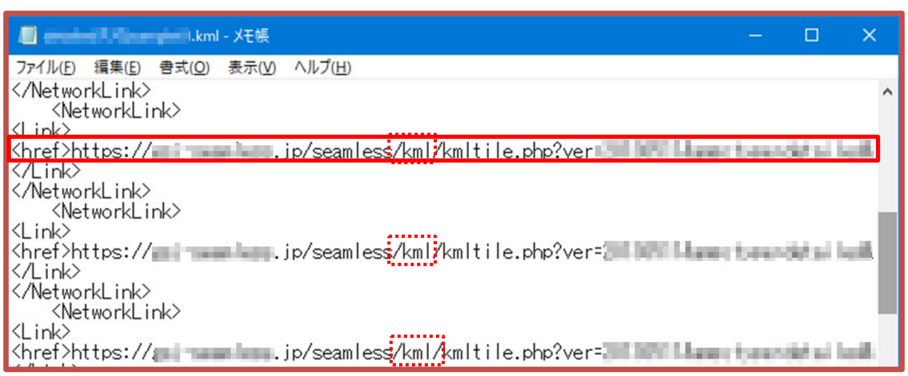


2：<NetworkLink>①の<href>タグ②で外部URL ③の kml や kmzがファイル名 ④を参照している場合は、
③の赤枠内をコピーし、ブラウザなどに「貼り付け」該当ファイルをダウンロードして試してください。



ご注意：★リンク先にkmlファイル名がない場合は、KMLデータファイルを取得することができません。
※なお、公開されているデータのご利用の可否は、提供者の利用条件などの許可のもとに利用者の責任において取得をお願いいたします。
弊社にて責任を負うことは致しかねますのでご承諾のほどお願いいたします。

★リンク先にkmlファイル名がなく、データが取得できない場合の例



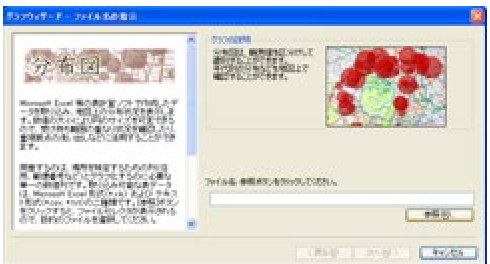
■各種グラフの作成

各種の情報や集計データを「分布図」「円グラフ」「棒グラフ」で表示します。
　エクセルで作成されたファイル、テキストで作成されたリポートから取込むことができます。

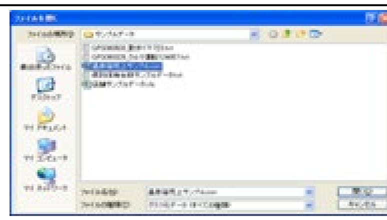
① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブのグラフ項目から任意のグラフを選択します。



② 分布図を作成してみる。
ファイルを選択するため[参照]をクリックし、分布図で表示したいファイルを選び「開く」をクリック。
グラフウィザード画面で[次へ]をクリックします。

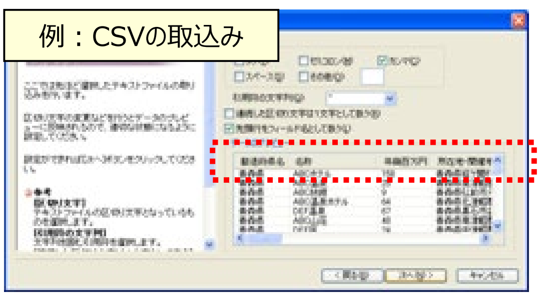


例：エクセルで使用されている「CSV」や「XLS」ファイルを使用



③「データのプレビュー」で表示されているデータを確認し、[次へ]。

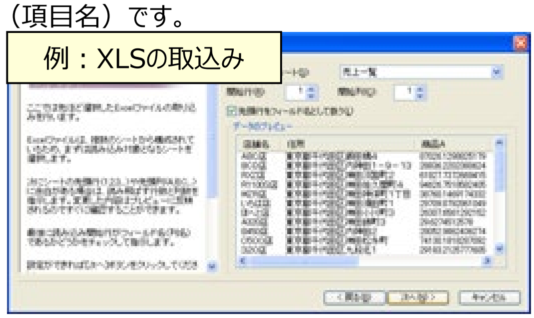
例：CSVの取込み



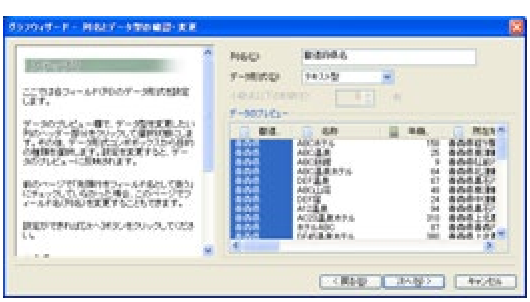
【 ポイント】
「先頭行をフィールド名として使う」に☑が入っていること。

＊フィールド名はどの列を、グラフに割り当てるか、設定するときの名称（項目名）です。

例：XLSの取込み



④ 列名とデータ形式を確認します。
・項目の名称をクリックするとデータ形式がわかります。
また項目名の前にある「数値アイコン 」で確認できます。



【 ポイント】
グラフ表示にしたい「列名」が「テキスト型」だと、グラフ化ができませんので、[データ形式]で「数値型」に変更します。

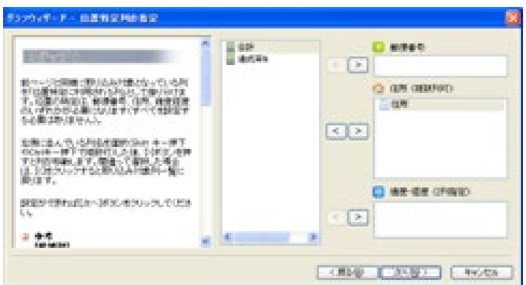
⑤ グラフタイトルには「店舗名」や「顧客名」などを選択し、[>] をクリックします。
＊「グラフタイトル」は省略しても構いません。



⑤－１、グラフ用数値にはグラフにしたい「数値データ」を選択し、[>] をクリックします。

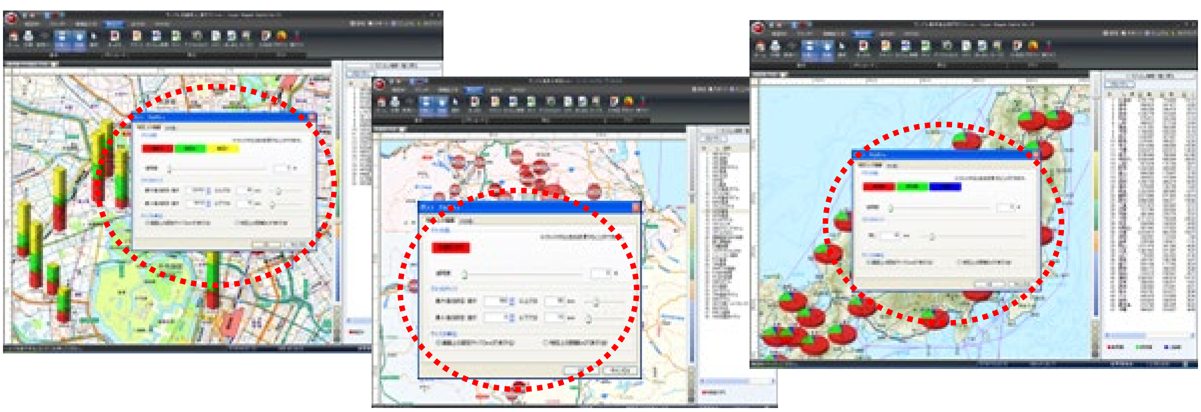
【ポイント】
数値データの取込み数は、グラフによって違います。
・分布図はひとつ
・円グラフは２～１２
・棒グラフは１～１２

⑥ 地図上に表示位置設定するため、フィールド名（列）を選択し [>] をクリックし、[次へ]



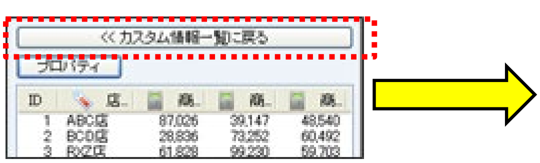
【ポイント】
一般的には「住所」で位置確認を行ないます。

⑦ グラフが表示されます。



【ポイント】
・◯枠内の「グラフの色」「グラフのサイズ」を設定することにより、表示バランスを変更することができます。
・また、表示後「プロパティ」で調整ができます。

⑧「カスタム情報一覧に戻る」をクリックすると、通常の画面に戻ります





■「おでかけ」のプランニング活用

① 「プラン」タブをクリックし、もONにして、検索バー、作業バーも表示されるようにします。



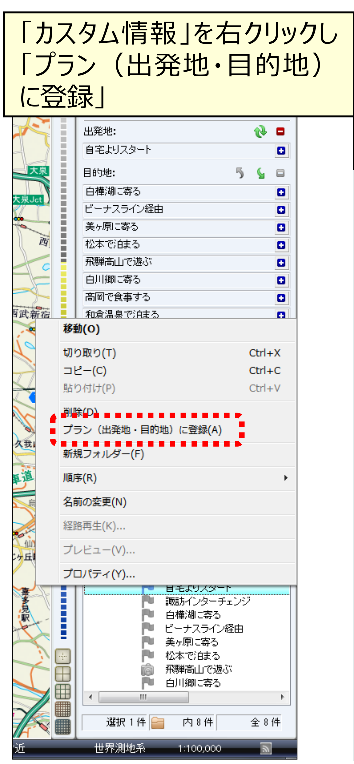
② 作業バーから「 右の[＋]ボタンを押して出発地を追加」にある アイコンをクリックし、「地図上の中心」を選択すると、出発地が登録されます。

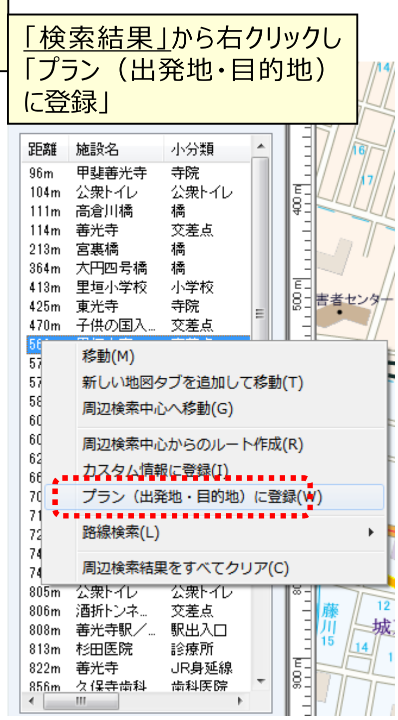


③ 地図を移動し、「目的地」も同じように登録を行います。地図移動させ「②の操作」を繰り返します。

④ 各条件を設定してプラン実行をクリックします。

<u>★各種情報を「プランに登録」ができる方法（右クリックを使う）</u>







⑤ 移動手段の設定を行います。
例：「車」に☑を入れます。「車種」「優先変更」を行う時は、▼ボタンを押し、選択します。



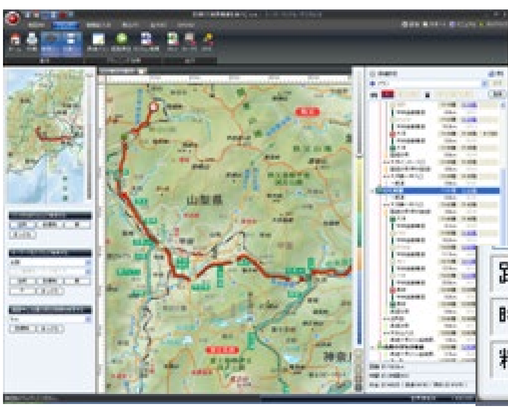
⑥「車」での「詳細設定」で、各種の条件を設定できます。



・ＳＡ・ＰＡでの休憩を設定
・ＥＴＣ利用などの設定
・時速、燃費などの設定が出来ます。

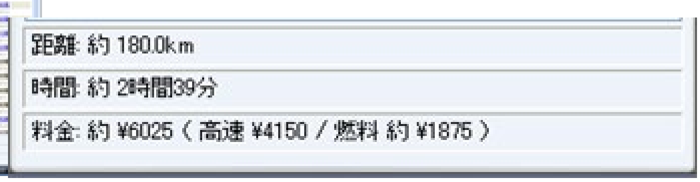
【🍎 ポイント】
「車」でのルート検索には、「道路交通規制情報」
が採用されています。

⑦ 設定後「プラン実行」をクリックすると、結果が表示されます。



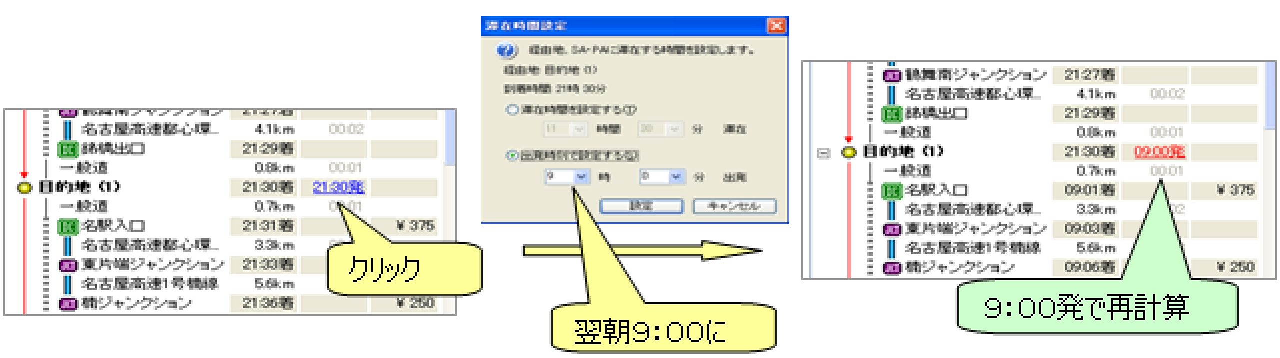
※複数ルート検索に☑がある場合は、
「車」３パターン、「電車」で３パターンまでの結果を表示いたします。
パターンが１つまたは２つしか表示されない場合もあります。

【結果欄に】



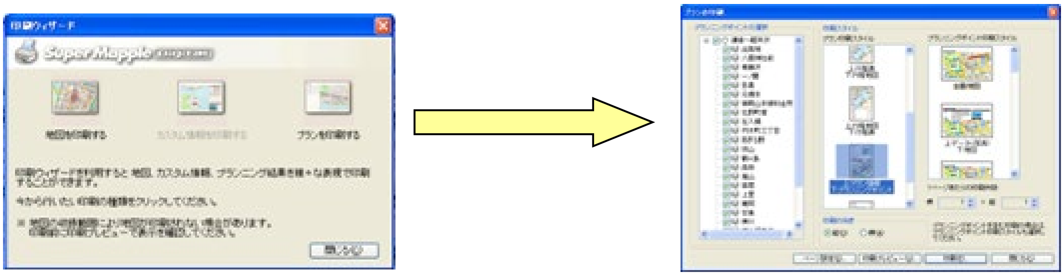
※「有料道路料金」につきましては、実際の料金と異なる場合があります。

⑧ 時間管理も速やかに、休憩時間、翌朝の出発時間を設定した計画が出来ます。



■計画・地図の印刷

①  アイコンをクリックすると、印刷ウィザードが表示されますので、[プランを印刷]を選択してください。



【プランニングのポイントの選択】
☑されているものが印刷されます

【印刷スタイル】
好みの印刷スタイルを選択します

[印刷プレビュー]をクリックすると
印刷イメージが把握できます



② PC画面で表示されないエリアを印刷時に印刷する
例：PC画面は1/3000で家形が表示されるが1/5000では表示されない、1/5000のエリアで家形も印刷したい。



■ 画像データ（情報）の取り込み

① 画像の取込みはメニューから操作せず、パソコンに保存したデジカメ画像を地図上に直接ドラッグ＆ドロップします。



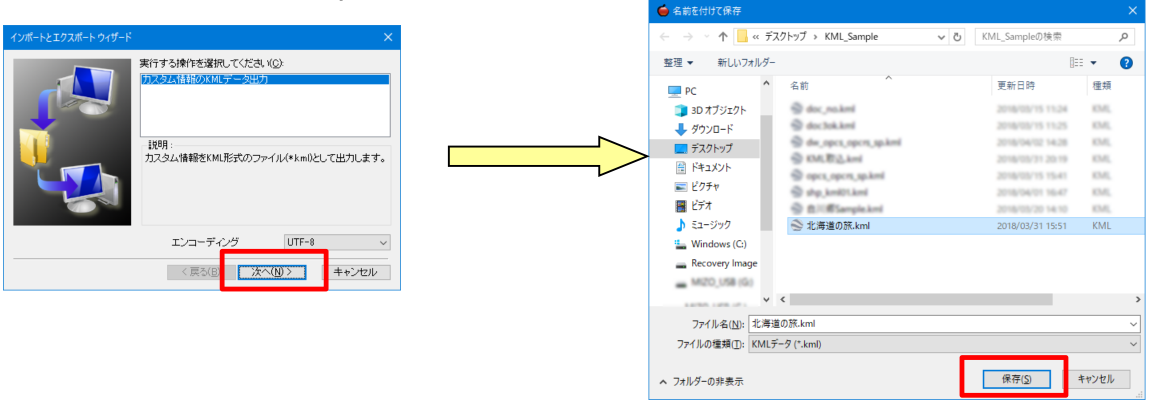
■KMLデータファイルとして出力（V19以降）

KMLとはGoogle Earthによって広められた，XML**ファイルの一つです**。

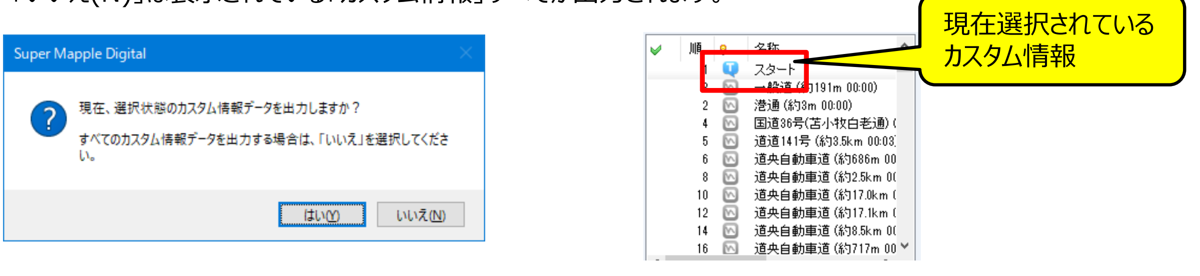
① スーパーマップル･デジタルを起動し、kmlデータファイルとして出力したい「カスタム情報」画面に表示し、[出力]の[KML]をクリックします。



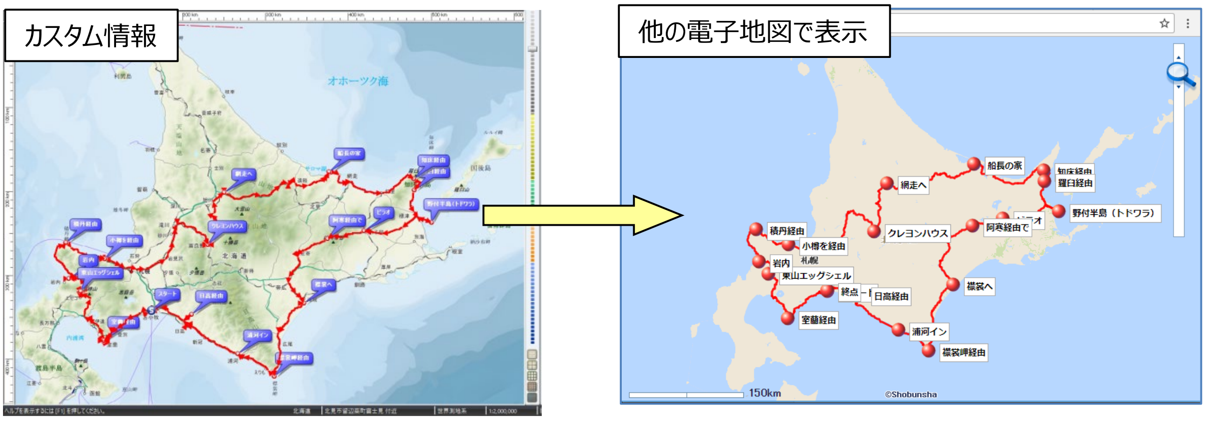
② 「カスタム情報のKMLデータ出力」を確認して［次へ］をクリックし、「ファイル名」を入力後[保存]をクリックします。
※kmlデータファイル（**.kml)として保存できます。



③ この画面が表示される場合、「はい(Y)」は現在選択されている「カスタム情報」だけが出力されます。
「いいえ(N)」は表示されている「カスタム情報」すべてが出力されます。



④ kmlデータファイルを他の地図での表示ができます。

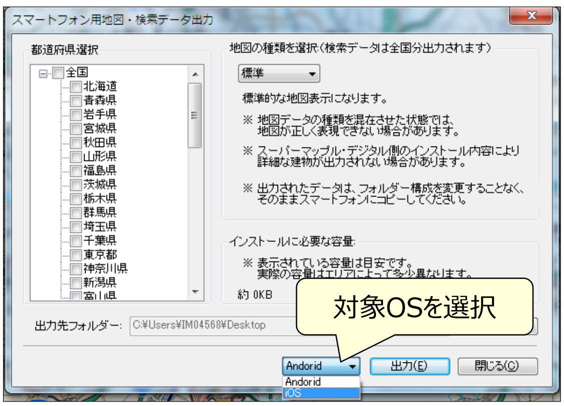


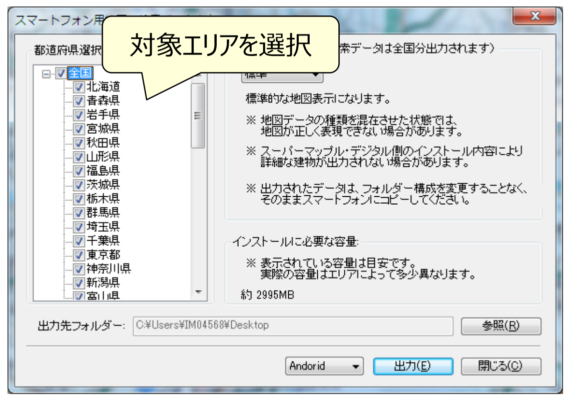
■スマホ・タブレットへの地図切り出し

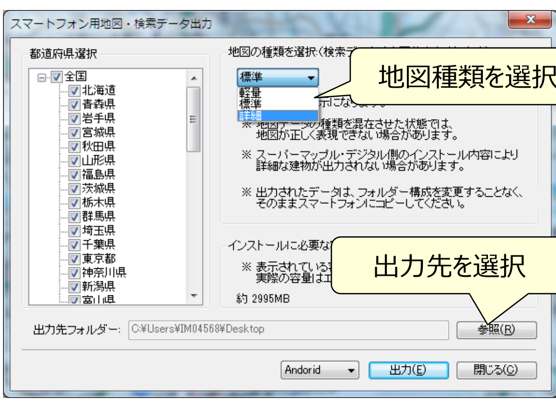
① メニューから[出力]タブの[スマートフォン]をクリックします。

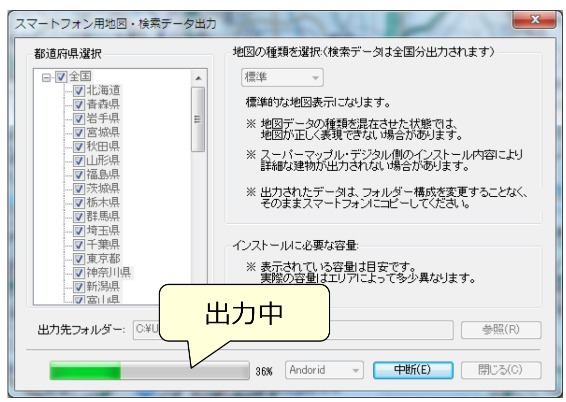


② 地図データ出力画面で、対応OS（Android,iOS）を選択し、選択エリア、地図の種類、出力先を選定し
出力(E) をクリックします。



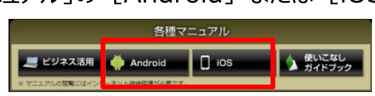






※出力されるファイル名：Android版は｢Android｣、iOS版は｢SuperMapple.smdmap｣となります。

【参考】
・使い方等については画面右上の ガイドマップ を選択し、「各種マニュアル」の［Android］または［iOS］を参照して下さい。



注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上